

☆地域協議会だより☆

平成26年度第2回地域協議会は、7月30日(水)午後3時から二ツ井町庁舎大会議室で行われ、4つの案件について協議しました。概要は次のとおり。

移転整備に向け 基本構想を検討中

道の駅ふたつい

平成26年6月24日開催の、道の駅ふたつい整備検討委員会での検討結果が報告され、移転整備は必要不可欠であること、まちづくりと連携した地域振興のための拠点として整備する必要があること、

検討委員会の意見としての移転整備先は、小繫地区としたこと、管理運営については、検討委員会の組織は新しい一つの組織で行うのか、既存の複数の組織が継続運営となるのかとの質問があり、事務局からは、これまでのような施設ごとの運営ではなく、民間による一體的な管理運営体制を

構築していくため、基本構想の次のステップとなる基本計画の中で検討したいと説明があつたことが報告されました。

今後、府内、議会、地域協議会、道の駅ふたつい整備検討委員会を経て策定が進められます。



移設が検討される道の駅ふたつい

きみまち阪公園内に ハート型モニュメント

恋文のまちづくり事業

恋文のまちのPRと商店街のにぎわい創出のために、各種イベントを実施している旧いとくステークス地となりの北都銀行の壁面に大型の恋文PR看板を設置する事業計画が報告され、デザインを明治天皇東北御巡幸時の御行列を忠実に模写したものが、明治天皇がきみまち阪に到着した際に、届いたと伝えられている皇后陛下からの手紙をパネルにしたものとすることが説明されました。

パネルのサイズは、古いとく側が、横6・9m×縦3・0m、道路側が、横3・9m×縦3・0mで、商工会を中心に、9月中旬のお披露目を目指し、準備を進めている、と報告されました。

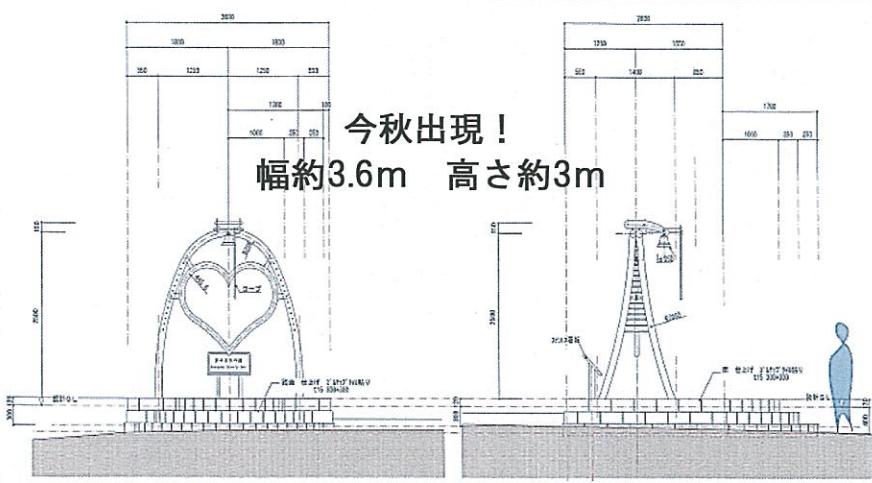
また、きみまち阪公園内の記念撮影絶好スポットに、ベルの付いたハート型のモニュメントが設置されることが報告されました。先ごろ、委託契約が締結され、10月20日から始まる紅葉まりに合わせて完成したいとし、完成後は、この前で結婚式を挙げるカップルが出るようPRしたい、と説明されました。

地域協議会委員

伊藤輝幸	伊藤誠
工藤一成	小林義則
斎藤陽悦	佐々木英樹
佐藤繁則	簾内久子
田中勝昭	田村久子
成田忠和	藤田弘子
安井良和	山谷博文
(五十音順)	

発行：能代市二ツ井地域局総務企画課
〒018-3103
能代市二ツ井町字上台1-1
電話 0185-73-2112

H26.8.25発行



きみまち阪公園内に設置されるモニュメント設計図

今年度の道路整備

社会資本整備総合交付金事業

国からの交付金を活用し、市道の側溝や舗装の修繕等を行い、安全で快適な道路網を整備するもので事業費の60%が国から交付されます。

今年度は、事業費1億4千百1万1千円の計画でしたが、国からの内示額が、38・3%の減となつたことから、工事施工延長の調整を行うなど一部の事業の先送りを検討していることが報告されました。



富根本線（側溝・舗装）



ニツ井堤防線（舗装）



富田線（舗装）

これらの説明に対し委員からは、国への要望額に対し内示額が削減されるのは毎年なのかと質問があり、市側は、昨年度は14・2%の減でした。今年度はは減額幅が大きかつたと説明しました。

旧二ツ井小学校G跡にテニスコートを移設

ニツ井テニスコート

一般国道7号二ツ井今泉道路改築事業による道路整備工事に伴い、テニスコートの撤去が求められているため、現在と同規模で旧二ツ井小学校グラウンドに移設することが報告されました。新コートへの出入り口は、小学校入口と同じで、砂入人工芝の全天候型4面、ナイター照明などが設置され、これまでにはなかつた観覧席を2カ所に設置し、壁打ち練習コートも配置トイレ・倉庫等を配置します。

駐車場は85台分を確保し、芝生の緑地帯を設け、グラウンドゴルフ等の軽スポーツも行える

ことなどが報告されました。

これらのことと同様に、平成27年9月までは完成したいとしました。



テニスコート移設予定地の旧ニツ井小学校グラウンド